

GWECとWWEAとの交流会（2012年3月）

国際部会長 上田悦紀

1. 経緯

自然エネルギー財団（HREF）の国際シンポジウム「REvision 2012 - 日本の新しいエネルギービジョンへ」（3/9・10 東京開催）に合わせて、世界風力会議（GWEC）と世界風力エネルギー協会（WWEA）の両事務局長（Sawyer 氏とGsängers 氏）が来日されたので、2011年9月と同様に交流会を企画しました。海外団体要人と国内関係者が定期的に面談して人脈をつなぐ機会ができたのは大変価値があると思います。

表1 交流会の内容

	GWEC	WWEA
日時	3月9日(木) 夕方	3月10日(金) 夜
場所	未来科学館と 日航ホテル「さくら」	和食レストラン 「権八」
相手	Sawyer 事務局長 JREF Kaberger 氏	Gsängers 事務局長 HonPeterRae 副会長
日本	JWPA&JWEA 合同 国際部会メンバー	牛山先生、荒川先生、 長井先生、上田
内容	交流会と夕食会	夕食会

2. GWEC との交流会

日本は政策動向と洋上風力、GWEC は世界の状況をプレゼンした後、自由に討議しました。日本の発表は大変好評で今後も海外発表して欲しいと要望がありました。

JREF の Kaberger 理事長からは、「FIT 価格は高すぎると、『経済性が悪い』と反対派に非難されるので、業界として Clever な対応が必要」と指摘されました。GWEC Sawyer 事務局長は「洋上風力は今はまだコストが高い。欧州以外まで普及が広がるにはコスト低減が必要だ。」という冷静な意見を述べられました。

3. WWEA との夕食会

風力発電の拡大には、社会的受容性の獲得が重要であり、それには地域住民に風車を知ってもらう努力が重要だそうです。

また、日本も今後は積極的に WWEC2012 等の国際会議で発表したり、国際会議を誘致したり

して欲しいと要望がありました。



図1 GWEC との交流会（Sawyer 事務局長）



図2 GWEC との夕食会



図3 WWEA のGsängers 事務局長